

# 少子化対策特別委員会報告

委員長 南雲 和夫

平成21年12月4日  
 小学校統合と保育園の統合  
 に関するアンケート結果に  
 ついて

11月20日提出の保護者ア  
 ンケートについては集計分  
 析、意見、要望について集  
 約中である。

## 主な質疑

- Q：回答率が低いのが、原因として町民全体の関心を喚起することからも、特集を組むなど事前の広報等、工夫が足りなかったのでは。
- A：説明会の参加状況を見る限り、関心の薄さは否定できないが、保護者全戸に配布している。要因は分析していない。今後の対応を考えて行きたい。
- Q：統合、一貫教育について不明な部分が多く理解（関心）が深まっていないのでは。また、保護者世帯以外のアンケートは

出来なかったのか。

- A：湯沢町総合計画との絡みのなかで、小中学校統合の案件も組み入れて、年明けに2、500人を対象に対応していきたい。
- Q：保育園の統合についてアンケートの分析と今後の対応は。
- A：担当課と協議を進めていないが、内容を検討した上で周知し、理解を深めていきたい。
- Q：保育園の統合は切り離して考えられないのか。
- A：湯沢町文教施設整備委員会座長予定者に保育園を訪問していただき、現状の把握に努めていただいている。進め方については保護者から十分な声を聞いて検討していきたい。
- Q：文教施設整備委員会の設置は何時ごろか。
- A：年度内には第一回目の委員会を実施したいとは考えており、細部の説明

ができるように進めたい。設置時については町長判断となる。

- Q：タイムスケジュールから執行部の配慮、リーダーシップが望まれるが。
- A：スピード感を持って前向きに進めていきたい。
- Q：文教施設整備委員会委員の選出方法は。
- A：現在は決まっていない。一般町民については公募で決めたい。
- Q：当面の予定は。
- A：文教施設整備計画説明会を昼の時間帯に設置していただきたいとの要望があり、12月13日に公民館を会場にPM1時30分より行う。広報で告知したい。

## 主な意見

- ・告知、説明方法等の反省すべき点は残るが、生の声、意見を配慮する気配りが必要であり、タイミングとスピード感を持った対応が望まれる。
- ・過疎化での小中一貫校に取り組んだ事例もある。参考にしていただきたい。

今後の活動について

## 主な意見

- ・委員会の独立性を確保する観点から従来どおりの進め方かどうか。
- ・湯沢町文教施設整備委員会の委員メンバーとして参加できるよう、議員申し合わせ事項の特例として議会運営委員会に回ることも考えられる。
- ・委員会としての意見、要望を文書で申し入れるこ

とを視野に入れておく必要も考えられる。  
 ・委員会としては委員が12月議会一般質問で問題提起していること、今後に予定されている湯沢町文教施設整備委員会に傍聴し、意見、質問の時間を確保していること、また委員会の独立性を確保する観点からも、当面は今後の推移の中で適宜委員会を開催することとする。



町立湯沢中学校